

政府による「反撃能力」保有方針に対する反対声明

私たちは、ソーシャルワーク専門職である社会福祉士・精神保健福祉士等によって構成される団体です。ソーシャルワーカーは、すべての人が人間としての尊厳を有し、価値ある存在であることを深く認識し、平和を擁護し、人々がつながりを実感できる社会の実現をめざす専門職であり、多様な人々や組織と協働しています。

政府は、敵とされる相手国の領域内でミサイル基地などをたたき「反撃能力」（敵基地攻撃能力）の保有を当たり前のように進めようとしています。「反撃能力」とは、ミサイルが発射される前に相手国の基地を攻撃する能力とされ、これは、「専守防衛」というこれまでの防衛指針を逸脱する可能性が大きく、わが国が戦争を仕掛ける国になる恐れがあります。私たちは、こうした方針に対して明確に反対いたします。

国家間の紛争は対話による外交によって解決していくことが日本の唯一とるべき道であると考えます。「反撃能力」を含む防衛費の大幅な増額ではなく、まだまだ不十分な社会保障や教育分野の充実に予算を振り分けるべきと考えます。

2022年12月15日

一般社団法人京都社会福祉士会 会長 長澤 哲也
京都精神保健福祉士協会 会長 知名 純子
一般社団法人京都医療ソーシャルワーカー協会 会長 巖 弥生子